土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川江の川水系西城川測量設計地質調査業務委託(河川改修・交付金)(荒神田橋)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	Bor.No.3	**調査位置**	庄原市本町			**北緯**	34° 51′ 56.304″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	令和元年 11月 21日 ～ 令和元年 11月 26日	**東経**	133° 02′ 0.177″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 247.86m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	11.00m					**使用機種**	**試錐機** D-1B / **エンジン** NFD-12 / **ポンプ** BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	246.36	1.50		礫混りシルト質砂		暗褐灰	rd2		埋土	細中砂主体、全体に細粒分混入。所々φ30mm以下の亜円礫混入。GL-0.1mまで草根混入。	11/26 1.35
2	245.46	2.40		玉石混り砂質礫		灰	rd4		沖積層	φ50mm以下の円礫主体、礫間は細砂～粗砂、細礫が充填。L=5cm～12cmの片状～柱状の玉石混入。	
3	243.96	3.90		砂質礫・礫混りシルト質砂		暗褐灰	rd2			細中砂主体とし全体に細粒分混じる。φ50mm以下の円礫混入。GL-2.8～3.0m間は礫が密集。	11/25 3.57
4	242.76	5.10		玉石混り砂質礫		褐灰	rd4			φ50mm以下の円礫主体、礫間は細砂～粗砂、細礫が充填。L=3～7cmの片状～柱状の玉石混入。	
5											
6				砂質泥岩・軟岩		暗灰	rd5		備北層群	新第三紀層(備北層群)の泥岩。砂岩層を不規則に挟む。上層部砂質となる。脆い岩片状～100cm柱状コア。深度に伴い硬質となるが、手で割れる程度。白色の貝化石および石灰岩の薄層を斑状～脈状に挟む。GL-6.1～6.3m付近は石灰岩質で硬質。GL-6.3～6.6mは細片状コアを挟む。岩盤区分D～CL。	
7											
8											
9	238.86	9.00									
10				砂質泥岩・軟岩		暗灰	rd5			30～100cm柱状コア。深度に伴い硬質となるが、全般にハンマーで濁音発して割れる程度。岩盤区分CL～CM。	
11	236.86	11.00									

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	2/120	2/80	2	6/300		
	1.45						
35	2.15	17	14	4	35/300		
	2.45						
6	3.15	2	2	2/120	6/320		
	3.47	貫入不能			50/0		
	4.00						
79	5.00	18	32/90		50/190	190	
188	6.05	50/80			50/80	80	
115	7.05	35	15/30		50/130	130	
150	8.05	50			50/100	100	
300	9.00	50/50			50/50	50	
1500	10.00	50/10			50/10	10	
1500	11.00	50/10			50/10	10	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15	P3-1	⊖	物理		11/21
1.45					
3.15	P3-3	⊖	物理		
3.47	孔内載荷試験		Ep=4,568kN/m2	3.50 3.90	11/22
					11/25
					11/26